

鉄壁を、 求める国々へ

その鋼の名は「鋼矢板」。必要な枚数を組み合わせて土中に打ち込み、鉄の壁をつくって、護岸、岸壁づくり、土止め等に使われる土木建材です。新日鉄は世界最長38mの鋼矢板を開発。韓国で最も長い海上橋となる仁川大橋に採用されました。円筒状に接合した鋼矢板でガードされた構造物を海に設置することで、大事な橋脚基礎を船舶の衝突事故から守り、海上交通の安全を図ります。近年、鋼矢板は港湾整備や災害対策が活発化する海外でも注目と期待を集め始めました。そのニーズに应运、新日鉄では中国やベトナムなどで鋼矢板の紹介や工法等のソリューション提案を展開しています。日本を越え、海や河川の安全のために「鉄壁の守り」を築きたい。最先端をいく鋼板の普及を通じて、グローバルな社会基盤整備に貢献していきます。

先進のその先へ、新日鉄

www.nsc.co.jp